

令和3年1月29日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 2月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

..... ご寄付

校長 村上 雅基



2月に入り、早いもので、今年度もあと2ヶ月ほどとなりました。

今月は節分、立春がやってきます。いつもは、節分が2月3日、立春が2月4日ですが、今年は、1日早くなります。

豆まきなどの行事でおなじみの節分、実はその日付は固定されたものではないとのことです。国立天文台によると、2021年の節分は例年のように2月3日ではなく、2月2日

になるといいます。3日でなくなるのは、1984年2月4日以来37年ぶり。2日になるのは1897年2月2日以来、124年ぶりの出来事だそうです。

節分は季節を分けるという意味で、本来、各季節の始まりである立春・立夏・立秋・立冬の前日、それぞれを指します。このうち、時代が変化する中で立春の前日だけが残ったとされています。つまり、立春の日付が変われば、節分も変わるという仕組みだそうです。

児童たちは、毎日、歌のつどいにむけて、市教育委員会からのガイドラインに沿った形で、音楽活動を行っています。

新型コロナ感染対策が長引く中、ロイロノートの普及や、デジタル鍵盤楽器の購入(P.3参照)等、新たな対策や準備を行っています。全校児童が体育館に集まった朝会や集会はいつになったら出来るのだろうと心待ちにしています。

毎週の朝会は、現在放送室から、各教室へビデオで生放映している現状です。そこで、広い場所からの発信を目指し、体育館での活動を配信できるように、代表児童、代表学級、合唱部等の集団が、密にならないよう配慮しZOOMでの放映を試行しましたが、画像や音色がとても悪く使用できませんでした。

そこで、体育館から放送室まで、150mほどの、有線ピンプラグを配線しました。ビデオカメラを使用して、体育館から綺麗な画像、音色で各教室のテレビにライブ配信が出来るようになりましたので、今後の活動の充実を図っていきます。

1月のある日、市教育委員会から、次のような通知が届きました。

『貴校あてに、横浜市ふるさと納税「教育活動の充実」のお申し出があり、手続きが完了しましたので、予算を配当いたします。』として2万円の予算配当がありました。どなたかが、本校を指定して、ふるさと納税の中から寄付をしていただいたのです。

匿名ですので、保護者のどなたか、地域の方か、卒業生か、わからないのですが、本校への温かい気持ちととらえ、児童に還元できる活用方法を考えてまいります。ありがとうございました。